

# 目次

はじめに.....5

プロローグ〜世代を越えて語り継がれる震災〜.....8

## 第一章

# 時代

〜よみがえる当時の生活〜.....21

暮らす モノはなくても家族の温かみに満ちた震災当時の暮らしをのぞいてみる.....22

学ぶ 新しい教育制度のもとで子供達は強く、たくましく成長していく.....28

働く 大人も子供も汗水を流して働き、明るく豊かな社会を目指す.....30

動く 町や村を結び、人と人をつないだ当時の交通・通信手段を見てみる.....42

楽しむ 娯楽の少なかった戦争直後の人々の楽しみを眺めてみる.....46

## 第二章

# 地震発生

〜昭和23年6月28日午後5時14分〜.....51

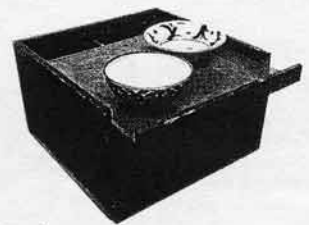
丸岡城.....52 生活.....54 建物.....56 学校.....62

農業.....64 交通.....66 町.....70

## 第三章

# 被害

〜心に刻まれた震災〜.....75



# 福井県全域を襲った大地震の被害

76

## 丸岡の町や村を壊滅させた福井地震

78

### 丸岡町

崩れ落ちた日本最古の天守閣。城下町が焼け野原と化す……………82

### 高棕村

全壊家屋千二百六十六戸の大惨事。山沿いの地区のみ奇跡的に被害少なし……………98

### 磯部村

家屋全壊率九八％は丸岡最大の被害。噴出した土砂で水田が泥沼となる……………122

### 長畝村

丸岡・高棕・磯部に次ぐ被害。西部の家屋はほとんどが全壊……………132

### 鳴鹿村

被害のほとんどが西部の集落に集中。わずかな地域差が明暗を分ける……………142

### 竹田村

村の主要産業に深刻な被害。緑豊かな山あいの村を激震が直撃……………147

### 福井県内・県外

人口密集地を直撃。交通が寸断される……………154

## 第四章

# 復興

## 〱 廃墟からの出発 〱

……………171

### 暮らす

建物は崩れても心まではくじけず。郷土の誇りが丸岡の町によみがえる……………172

### 学ぶ

子供達の思い出が詰まった校舎も全壊。生徒の顔に笑顔が戻る軌跡を振り返る……………174

### 働く

瓦礫の山の中から立ち上がった人々。未来へ賭ける情熱が職場に弾ける……………178

### 動く

災い転じて福と為すの心意気で、丸岡の町が近代都市として生まれ変わる……………186

### 楽しむ

後片付けに奔走する日々からの解放。娯楽施設の復旧が人々の心を癒す……………190

1 初めて震度7制定に至った福井地震の未だに残る謎……………20

2 被害の惨状と復興の様子を伝えた当時の新聞報道……………50

3 今も町内に残る震災の爪痕と犠牲者の冥福を祈る震災記念碑……………74

4 町と丸岡城の復興に心血を注いだ友影町長……………97

5 町民の命を救った医療救護班の活躍……………120

6 全国から続々と寄せられた温かな心遣いの数々……………141

7 震災への思いが綴られた今は亡き被災者の遺稿……………170

## エピソード

●本誌内での表記について  
本誌で表記している町村名は、  
震災体験者の現在の住所表記を  
除いてすべて、昭和23年当時  
のもので。第三章に掲載され  
ている体験談は、地震に遭った  
場所で分類しています。また本  
誌に掲載されている内容は、平  
成12年1月1日現在のものです。

